

令和3年度 富岡東地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアは富岡第二地区と金沢シーサイドタウン地区はそれぞれに65歳以上の人口割合が増え、高齢化が進行する見込みである。高齢化が進む中、要介護度率は高くないので介護予防、ロコモ予防等の取り組みは引き続き重要である。地形や住居の制約、疾患等から移動が困難になり、地域社会から孤立する方が増えるリスクが高い地域であると思われる。
地域支援の担い手の発掘と見守りを兼ねた気軽に立ち寄れる居場所を各地区につくっていくことが必要であると思われる。

今年度の重点的な取組

| 新規 | 継続 | —具体的な取組内容— |
|--------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | エリア内の誰もが気軽に立ち寄れる場所に、地域住民の居場所となる拠点を、住民主体で継続的に設置できるよう調査、交渉を行っていく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 包括だけでなく、地域交流・生活支援も含めた5職種と所長が毎月定例の区とのケースカンファレンスに参加し、地域の課題について個別ケースと地域全体の視点から検討する。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 施設利用団体だけでなく、様々な来館者や地域の会議などに出席した際にもコミュニケーションを積極的にとり、地域ニーズの把握に努める。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

様々な事業が中止となる状況が一年以上となり、自粛するだけでは身体機能や認知機能の低下が課題となってきたのでしっかりと感染予防対策を行いながらコロナ禍でもできるやり方で事業を実施してきた。また、コロナ禍でも住民同士の活動や交流を図れるようなサロンの立ち上げなど地域住民のニーズを踏まえた取り組みができた。多くの方の関心事であるワクチン接種の予約が難しい方にはボランティアの協力でインターネットでの予約を手伝う事ができた。今後も地域の中の困っている人と助けたい人を繋げるような取り組みを行っていききたい。
新規の相談も増えており、地域の急速な高齢化が進んでいることを実感しています。
ケースカンファレンスに全職種で参加し、地域の個別ケースから新たな課題を見つけて事業に結び付けていくことを心掛けてきましたが、まだ具体的な策は見つけられずこれらを今後の事業につなげていきたい。地域の中で孤立している独居や夫婦のみの高齢者、ケアプラザで行っている事業等に参加しない、できない高齢者へどんな事業に参加したいと思えるかを検討する必要があることなどさまざまな課題が新たに浮かんできた。

区からのコメント

コロナ過でも感染症対策に努めながら、身体機能や認知機能の低下を防ぐための様々な事業を工夫して行っていただきました。
利用者ニーズに応える形で新たに開催された子育て世代向けの事業や、ボランティアの協力によるワクチン接種の予約お手伝いは結果としてケアプラザ周知にもつながる取組になっています。
担い手不足が全区的な課題の中、多くのボランティアの発掘や活動団体が他事業に参加することによる交流の機会づくりなどを積極的に行っていただきました。
認知症に関する普及啓発は、地域の方の興味を引くかたち（VR体験会や映画上映）で実施していただき、参加者のすそ野を広げています。
今後も地域のニーズに沿った「人」と「人」をつなげる事業展開や個別支援、関係機関連携を引き続きお願いします。また、各部署の強みとネットワークを生かした取組をケアプラザ全体として進めていただきますようお願いいたします。